

令和 6 年度における関係団体の取組状況

1 青森県小学校長会

<p>第 4 次食育推進計画 への位置付け</p>	<p>基本方向 1 - 2、配慮すべき事項 2</p>
<p>活動内容・参加者等</p>	<p>青森県小学校長会として実施している事業はないが、各地区（県内 9 地区）及び各小学校において次のような取組を行っている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学校における「食育に関する全体計画」を作成し、実施・改善に努めている。 2 各教科、総合的な学習の時間、特別活動及び給食指導の時間等、教育活動全体を通して食育の推進に努めている。 3 食育に関する専門的な知識をもつ栄養教諭、学校栄養職員、調理員、生産者等をゲストティーチャーとして授業を実施し、食の指導に生かしている。 4 学校保健委員会において食に関する指導内容を扱い、教職員、保護者、地域の方々と共に、食について話し合う機会を設けている。 5 食育イベントを開催し、栄養教諭や学校栄養職員が給食の紹介や食に関するクイズやゲームを実施している。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>
<p>取組の具体的手法や 特徴的なこと (他団体との連携など)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 全小学校において、栄養教諭を活用した授業を実施している地区がある。 2 PTAが中心となり、栄養教諭や学校栄養職員をゲストティーチャーに迎え、保護者向けの研修会を実施している地区がある。（講話、給食試食会、調理実習等） 3 参観日を活用して、栄養教諭、学校栄養職員をゲストティーチャーに迎え、食に関する講演を実施した地区がある。 4 多くの学校で学校保健委員会や授業、クラブ活動等で学校栄養職員を効果的に活用している地区がある。

2 青森県中学校長会

事業名 ①	日常の学習活動における食育への取組（各校独自の取組）
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-2、配慮すべき事項2
期 日	通年
場 所	学校内
活動内容・参加者等	<ol style="list-style-type: none"> 1 「食に関する指導全体計画」の作成、それに基づく年間を通じた指導と振り返り、工夫・改善に努めている。 2 保健体育科や家庭科の授業で食と健康等、食育に関する内容を展開し、学習のねらいを達成できるように努めている。 3 生徒会の保健委員会の活動に健康と食を関連させたテーマを組み入れ、全校集会等で発表することで、全校生徒に考える機会を持たせるなど工夫している。 4 学校給食をとおして、食の大切さを学ばせている。（給食センターからの配付物や昼の放送原稿として活用する） 5 食物アレルギーについての教職員対象の校内研修会の実施。 6 学校保健委員会で「食」をテーマにし、健康な体づくりやフードロスについて生徒と保護者、教職員が共に考える場面づくり。
事業名 ②	学校外での食育の意識化を目指した取組（各校独自の取組）
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-1
期 日	通年
場 所	家庭・地域
活動内容・参加者等	<ol style="list-style-type: none"> 1 PTAが独自に企画運営し、給食試食会や調理実習、栄養教諭を講師に招いての食育研修会などを実施。 2 手作りお弁当の日を設け、生徒が自分の手で弁当を作り、食と健康、栄養について考えさせる機会をもつ。 3 大学と連携し、食と健康に関する生徒アンケートの結果から浮かび上がる生活習慣の乱れや健康を害する食生活の実態を明らかにし、生徒はもとより保護者や地域に結果と考察を還元することで、意識化と家庭での改善につなげてもらうきっかけづくりをしている。

3 青森県高等学校長協会

取組 ①	高等学校の学習活動における食育の取組（各教科等における取組）
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-2、2-2、3-2、3-3
活動内容・参加者等	<p>(1) 共通教科「家庭基礎」、「家庭総合」に関する学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各ライフステージの栄養的な特徴の理解と調理実習による技術の習得 ・自分自身の食事内容を振り返り、望ましい食生活を考えさせる学習 ・市販の弁当等から食材の原産地やフードマイレージを考えさせる学習 <p>(2) 家庭科関係の専門学科における教科「フードデザイン」、「食文化」の学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事の意義と役割の理解、健康な食生活に関する学習 ・実習を踏まえた食品の特徴、調理上の性質、成分変化等に関する学習 ・食育基本法を踏まえた食事の重要性についての理解 ・伝統的な行事に伴う料理や食材等に関する由来や意味の理解 ・行事食や郷土料理に関する学習と調理技術の習得 ・食文化の伝承の重要性や新しい食文化の創造に関する学習 <p>(3) 課題研究、「総合的な学習（探究）の時間」、「介護基礎と福祉」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の栄養学を踏まえた調理法の実習 ・味噌汁や発酵食品の効能 ・病気と食、望ましい生活習慣と食、健康寿命を延ばすための食生活 <p>(4) 保健体育（保健）（健康を支える環境づくり）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品と健康（食品の安全性の確保、食品衛生活動） ・健康に関する環境づくりと社会参加（ヘルスプロモーション、適切な健康情報の活用）
取組 ②	各学校における特色ある取組事例
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-2
活動内容・参加者等	<p>1 百石高校食物調理科（専門学科）</p> <p>(1) 「家庭基礎」（食物調理科1学年24名） おいらせ町内の保育園へ、本校生徒が講師役となる食育教室を実施。 ※「栄養」（2学年）の食育教室は3学期に町内の小中学校で実施予定。</p> <p>(2) 「総合調理」（同科3学年28名） 給食通信の作成、掲示。 提供用の給食調理のほか、毎回「給食通信」を作成し1～2年食物調理科に配布。食について情報発信している。ま</p>

た、普通科での給食体験（各学年1回）を実施。その際も「給食通信」を配布し、情報発信するとともに、体験時には食事のマナーなどを指導している。

(3) 「栄養」（同科2学年26名）

- ・6月の食育月間には高校生～一般向けの食に関するポスターを作成。
- ・7月には小学生向けに直したものを作成。

(4) 「郷土料理」（同科各学年）

- ・「調理」（各学年）おいらせ町生活改善グループ連絡協議会会長柏崎幸子氏の指導で郷土料理の調理実習。
- ・「生活産業基礎」（1学年）青森県の郷土料理についてポスター作成。
- ・「食文化」（3学年）日本の郷土料理に関するポスター作成。

(5) 「公衆衛生」（同科2・3学年）

- ・青森県の食・健康習慣向上を目指すポスターや健康カレンダーの作成。

以下、「課題研究」を中心とした有志によるもの。

(6) 食育イベントへのボランティア参加（3学年課題研究1班、1～2学年有志 約10名）

- ・町内の企業が主催する食育イベント・こども食堂で、運営手伝いと企画ブース展開を担当。

7月 親に感謝を伝えよう！こどもショッピング（食材お買い物ごっこ）

- ①「どのドレッシングで食べる？サラダバー体験」
- ②「食べ物に関するパズルで遊ぼう」

11月 おやこ食堂inたかしお祭

- ①甘口カレーと果物スムージーの提供と農家さんから頂いた野菜のプレゼント（事前申込必要）
- ②玉ねぎチャレンジ！じゃんけんで買ったらプレゼント（子供連れの方対象）

(7) 千葉学園高等学校食物調理科と連携した食育イベントの実施（3学年課題研究2班、2学年有志 合計約15名）

「百×千×万プク 食育イベント」（八戸市 はっち）

- ・食べ物に関するパズル（食材・三色食品群について）
- ・体験ブース（中華鍋を振ってみよう。カフェのサービスを体験しよう。）
- ・卵を使った簡単レシピの紹介
- ・県産食材クイズ どこの特産かな？ 等

(8) 各種レシピコンテスト挑戦（各学年）

- ・地元食材を使用するものや、郷土料理の要素が入るコンテストを優先的に紹介し挑戦を促している。

(例) 黒にんにくレシピコンテスト、チー1グランプリ（チーズと地元食材・郷土料理を活用したレシピコンテス

ト)、豆乳甲子園(豆乳と地元食材・郷土料理を活用したレシコンテスト)、全国高等学校高校生クッキングコンテスト

2 弘前実業高等学校

科目名「フードデザイン」

- ・食事の意義と役割の理解、健康な食生活に関する学習
- ・実習を踏まえた食品の特徴、調理上の性質、成分変化等に関する学習
- ・食育基本法を踏まえた食事の重要性についての理解

科目名「食文化」

- ・伝統的な行事に伴う料理や食材等に関する由来や意味の理解
- ・行事食や郷土料理に関する学習と調理技術の習得
- ・食文化の伝承の重要性や新しい食文化の創造に関する学習
- ・外部講師を招いての食文化の伝承に関する実習と講話

3 青森高校(普通科)

科目名「家庭基礎」：学校家庭クラブ活動(1年生全員)

- ・本校生徒はほとんどの生徒が進学し、親元を離れるが、課題として「生活スキル」の不足があると考え、食育に8年前から取り組んでいる。
- ・学校家庭クラブ活動として取り組んでいる「青高自炊塾」は、ホームプロジェクトと関連づけ食に関心を持たせるために、1時間調理実習を年間12回程度実施し、年3回のホームプロジェクトに繋げ、自炊力を高めることを目指している。保護者からは、将来の自炊に役立つと好評である。
- ・青森県農林水産部食の安全推進課が令和元年から実施している「高校生のための自炊塾」のモデルになった。
- ・本校独自の「青高自炊塾レシピブック」に、青森県農林水産部食ブランド・流通推進課作成の「コンビニベジうまめし」3年分を加えている。他に、消費者センター「お悩み相談室」、宅建協会「一人暮らしガイドブック」を加え将来の自立に備え、生活スキルの向上を目指している。
- ・青森県農林水産部食ブランド・流通推進課作成の「広めよう！自炊力」に「青高自炊塾」の活動が独自の取組事例紹介として掲載された。
- ・全国高等学校長協会家庭部会普通教育に関する調査研究委員会が発行する来年度の冊子に「青高自炊塾」の実践が掲載された。一般財団法人家庭クラブ機関誌「FHJ」に私たちの活動として「青高自炊塾」の食育活動が全国に紹介される。青森県農林水産部食ブランド・流通推進課が令和元年度から主催している「高校生のための自炊塾」を青森県独自の取組として全国に発信したい。

3 五所川原農林高校 生物生産科（専門学科）

(1) 農業高校フードバンク

科目：課題研究（農業科・生物生産科）

生物生産科6次産業研究室では、栽培実習でどうしても発生してしまう「農産物ロス」と「子どもの体験機会ロス」という社会問題の解決に向け、4年前から西北五地域のこども食堂と連携して以下の活動に取り組んだ。

①廃棄予定だがおいしく食べられるリンゴ等を仕分けて保管し、共食活動の材料として地域のこども食堂に届け、活用してもらった。また、運営ボランティアとしても参画し、実際にこども食堂利用者と食をテーマにふれあう機会を作った。（毎月1回）

②こども食堂を利用する子どもや保護者を対象に、田植えや稲刈り体験などを実施し、それを食する機会（おにぎり会、餅つき会）を設けた。これにより栽培活動の楽しみや苦労を共有し、地域で育まれる農業文化と食に対する理解を深めた。

これらの活動は青森県農林水産部食ブランド・流通推進課、弘前大学大学院教育学研究科、青森県社会福祉協議会、地域企業、地域団体の協力を得て実施した。

(2) 地元小学生との稲作栽培交流の実践

科目：作物、地域資源活用（農業科・生物生産科）

本活動は、生物生産科2・3年生が五所川原市立いずみ小学校の児童の先生役を果たし、春の田植え、夏の生育調査、秋の収穫の栽培体験交流をとおして知識や技術を伝える。児童たちは総合学習で西北地域の基幹産業である稲作を学んでおり、高校生は児童の様々な質問に応答する。高校生は普段の学習内容を発揮できることから皆いきいきと活動に取り組む姿を見せる。

(3) 地元子ども園児の食育交流の実践

科目：食品製造（農業科・食品科学科）

本活動は、青森県農林水産部食ブランド・流通推進課と連携した活動である。食品科学科の生徒がこども園園児の先生役を果たし、地域の伝統野菜「毛豆」の播種、収穫の栽培体験交流を行い、味や香りを味わう機会を設けている。さらには、ダイズから豆腐の製造を指導し、共食する機会を設けた。

4 青森県特別支援学校校長会

<p>第4次食育推進計画への位置付け</p>	<p>基本方向1-1、1-2、2-1、2-2、3-1、3-2、3-3、配慮すべき事項2</p>	
<p>取組の具体的手法や特徴的なこと (他団体との連携など)</p>	<p>授業について</p>	<p>【幼児児童生徒を対象とした栄養教諭・栄養士や教員による授業等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ バランスのよい食事、三大栄養素、菓子類やジュース類の糖分量の学習、偏食、健康など栄養教諭及び栄養士による食育講話やマナー、食に関する知識について指導 ・ 生活習慣病と運動、食生活など予防に関する指導（食習慣、嗜好品の摂り方） ・ 食品の選び方（食品添加物、保存方法、消費期限等） ・ 日本の伝統的な食事、地域の食文化や地域の産物についての学習 ・ 調理実習、テーブルマナー ・ 季節の食材を使った調理学習 ・ 畑での野菜作り、収穫した野菜での調理活動 ・ 給食の献立を取り上げた食材や料理（種類）に関する学習 ・ 米についての調べ学習（栄養、品種、料理等） ・ バイキング給食の材料名、料理名、栄養バランスの学習 ・ SDGsに関連させた食育についての学習 ・ 「食べられる量を盛ること」や「残さず食べること」の意識付けをすることで、少しではあるが食品ロスについてつなげることができている ・ 非常食に関する講話及び非常食給食の実施 ・ 摂食指導を通じた安全な食べ方の指導 ・ 自立活動における吹き戻し玩具でのトレーニング、口周辺のマッサージ、口唇閉鎖介助の受け入れ、食べ物への注目と摂り込み等 ・ エシカル消費、食品ロス削減についての学習 ・ 「令和6年度青森県学校給食レシピコンテスト」などへの応募 ・ 栄養教諭や栄養士、厨房の方への感謝メッセージ作成 ・ 「給食ができるまで」をテーマにしたプレゼンソフトを使用した学習 ・ 産業科フードサービスコース校内カフェにおいて、農作業班で栽培した野菜を食材として活用 ・ 東洋水産（株）「スマイル“フード”プロジェクト」に応募（県産品を使ったスープの商品開発） ・ 産業科フードサービスコース生徒による校内カフェ運営に向けての指導（接客練習、パン・焼き菓子の製造、メニューの開発など）

	<ul style="list-style-type: none"> ・給食の盛り付け方と、カロリー計算 ・偏食・少食・ダイエットの影響、思春期の食事の大切さ ・新入生対象の給食指導（学校給食全般、手の洗い方、食事のマナーなど） ・米づくり、バケツ稲づくり ・オンライン(Z o o m)を活用した授業（厨房と教室との遠隔授業）
各 研 修 会 に つ い て	<p>【保護者対象】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食の見学、給食試食会 ・栄養教諭による食育講話 ・コーヒーの入れ方、試飲を通じた SDG s の観点からのフェアトレードについて ・新小1 保護者対象の給食試食会 ・食育フリートーク&講話会 <p>【教職員対象】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アレルギーのある児童生徒への対応、エピペンの取り扱いについての研修会 ・新任者、初任者校内研修における食育講話 ・医療的ケアを必要とする児童生徒を含めた摂食指導 ・嘔吐物処理の対応 ・地区栄養士との情報交換 ・黒石市出前講座を活用し、生活習慣病予防と栄養管理に係る学習会を実施 ・歯科衛生士による食べる喜び正しい咀嚼に係る学習会を実施
イ ベ ン ト 的 な も の	<ul style="list-style-type: none"> ・種差少年自然の家の「せんべい焼き体験」講座体験 ・県産品を活用した給食や地場産物に関するクイズ、りんご、ふき、くりなど季節を感じる果物や野菜、ぶりやさんまなど季節のいろいろな魚の模型の展示 ・りんご食べ比べ、卒業生リクエスト給食、行事食、ふるさと産品給食の日、全国・県内の郷土料理給食、学校給食レシピコンテスト受賞メニュー等の実施 ・作業学習（高等部農耕班）で栽培、収穫した野菜の給食での活用と周知 ・児童生徒による食に関するクイズ大会 ・郷土料理、県外料理、外国料理の実施と情報発信 ・季節や旬の料理の実施と情報発信 ・学校給食週間、ふるさと産品給食の日での行事食の提供と情報発信 ・非常用備蓄食品を用いた体験給食 ・非常時用備蓄食品の家庭への提供 ・りんごの摘果～葉とり～収穫、収穫したりんごを使ったりんごジュースやお菓子作り ・学校畑で収穫した野菜の校内販売

	<ul style="list-style-type: none"> ・全校集会で、パワーポイントを使用した食育指導 ・産業科フードサービスコース生徒による「校内カフェ854(はちこうし)」(月1回程度の頻度で実施、及び八高支祭などで実施) ・産業科フードサービスコース生徒による八戸市鮫公民館、八戸市ポータルミュージアムでの「出前カフェ854(はちこうし)」実施 ・産業科フードサービスコース生徒を講師に「パン・クッキー作り講習会」(普通科社会コース・生活コース生徒を対象に実施) ・ホテル等を活用した「テーブルマナー講座」 ・給食センターの見学と試食会への参加 ・寄宿舎にて「食と健康に関する学習会」を実施し、主任栄養士を講師に「噛むことの大切さ」について情報提供を行った。 ・学校給食レシピコンテスト応募レシピを学校給食で提供
<p style="text-align: center;">その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食べ残しの量からSDGsへの意識を向けられるように残食をボールに入れて見えるようにしている ・献立表に教科等と連動したメニューや食材のコメントを載せている ・食育だより・献立表の掲示、給食だよりや保健だよりで肥満・やせ傾向、食物アレルギー疾患、偏食に関する情報提供している ・個々の体格や運動量、空腹の度合いから適量を算出し、主食量を決めている。年2回、家庭に主食目安量として知らせ、家庭での食事量の参考にしてもらっている ・ディスプレイに盛り付けの見本を写し確認できるようにする ・麺類の汁を残す、ソースや醤油はつけるなど、メニューによって食べ方マニュアルをテーブルに置き、気をつけることのできる減塩指導をしている ・給食目標、毎日の献立の三色栄養を実物大写真で掲示している ・食堂入り口の一口メモを掲示(リクエストメニュー、給食に使用している珍しい食材、旬の食材、地場産物、メニューの由来など) ・ホームページによる情報発信(学校給食予定献立表の掲載、学校給食で提供した郷土食や行事食、コンテスト受賞レシピ等の写真の掲載、セレクト給食や試食会など行事の様子の掲載 など) ・食育に関する情報提供(「アップルウェーブ」ラジオでの献立紹介) ・「噛むこと」についてデジタル教材の紹介

	<ul style="list-style-type: none">・軽度肥満、肥満対象者に対して、毎月の体重計測による健康管理・肥満指導（すくすくカード）による個別の食事のアドバイス・保健委員会によるポスター作成と掲示・栄養士さんや調理員さんへ手紙を書いたり、カードを作成したりして渡すことで、感謝の気持ちを伝えている。・給食だよりに簡単レシピの情報提供
--	--

5 一般社団法人青森県私立幼稚園連合会

事業名 ①	味噌づくり（認定こども園百石幼稚園）
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-2、3-3
期 日	令和6年5月20日（月）
場 所	百石幼稚園ホール
活動内容・参加者等	活動内容：給食で実際に普段から使用する味噌の仕込み作業を行った。 参加者：年長組園児、担任、給食スタッフ、味噌づくり講師
事業名 ②	誕生会のメニュー紹介、年中行事と関連付けた献立作成（認定こども園百石幼稚園）
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-2
期 日	毎月1回
場 所	百石幼稚園
活動内容・参加者等	活動内容：毎月1回ある誕生会でその日のメニューについて、説明を行う。また、年中行事と関連付けた献立作成を心がけ、1月にお正月料理を提供する際には、重箱に入れて実物を見せながら食材について説明した。 参加者等：全園児、対象保護者、担任、給食スタッフ
取組の具体的手法や特徴的なこと（他団体との連携など）	味噌づくり：毎年、園の畑で前年度に栽培・収穫した大豆を使用し、地元で味噌づくり・販売を行っている外部講師を迎え、行う。 メニュー紹介：お誕生会にいらしている保護者を対象に、給食の試食を行っている。

6 青森県学校保健会

事業名 ①	健やか青森っ子プラン「健やか青森っ子生活習慣病防止対策」の実施
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-2
期 日	各地区学校保健会において実施
場 所	各地区学校保健会において実施
活動内容・参加者等	県教育委員会、郡市学校保健会及び学校保健関係団体等と連携し、幼児、児童生徒の心身の健康の保持増進と健康課題を解決するため、健康教育としての食育等を推進。
事業名 ②	第57回東北学校保健大会兼令和6年度青森県学校保健・安全・給食研究大会
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-2
期 日	令和6年8月9日（金）
場 所	弘前市
活動内容・参加者等	学校における食に関する指導の取組発表
取組の具体的手法や特徴的なこと (他団体との連携など)	これまで同様、健康教育の中で総合的に取り組むとともに、学校保健関係団体が行う食育に関して積極的に支援する。

6 青森県PTA連合会

事業名 ①	ひろさき親子体験教室（弘前市連合PTA）
第4次食育推進 計画への位置付け	基本方向1-1
期 日	12月14日(土)
場 所	弘前市総合学習センター
活動内容・ 参加者等	「たのしいたべもの」～おいしく健康になるたべものは～ 参加者数 25名 色鮮やかな野菜に関して、参加親子に食材の色素と味覚、健康への影響について楽しく学んだ。五感を使い食材の色と味を体験しながら、野菜好きへそして健康な体づくりへのきっかけとなり、普段からの食事の見直しにつながった。
取組の具体的手法 や特徴的なこと (他団体との連携など)	講師として弘前大学、柴田学園大学から専門の先生を招き、学生スタッフのサポートとともに実施した。
備 考	様子を県P連HPにアップ予定

7 公益財団法人青森県学校給食会

<p>第4次食育推進 計画への位置付け</p>	<p>基本方向 1 - 2</p>																								
<p>活動内容・ 参加者等</p>	<p>1 学校給食に関する食育活動の一環として、フードモデル（農水産物36種類、教材セット）を指導教材として作成し、学校、食育関係団体等に貸出を行っている。</p> <table border="1" data-bbox="512 533 1385 660"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>貸与施設数</th> <th>助成対象事業者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県産品フードモデルの貸出</td> <td>6ヶ所</td> <td>八戸市立学校北地区給食センター等</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="512 689 1385 817"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>貸与施設数</th> <th>助成対象事業者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>フードモデル(教材セット)の貸出</td> <td>20ヶ所</td> <td>中泊町学校給食センター等</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">令和6年12月末時点</p> <p>2 青森県PTA連合会と連携して、県内の郡市連合PTA及び単位PTA活動の「食育推進事業」に対し、経費の一部を助成する事業を行っている。</p> <table border="1" data-bbox="512 1070 1385 1198"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>助成金額</th> <th>助成対象事業者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PTA食育活動支援事業</td> <td>25,000円</td> <td>東北町立上北小学校PTA (参加人員 71名)</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">令和6年12月末時点</p> <p>3 地場産品を活用した食育を推進するとともに、学校給食に対する児童生徒の関心を高めるため、青森県産の食材を使った、家庭でも簡単に調理でき、学校給食でも提供できる、児童生徒のアイデアを活かした料理の青森県学校給食レシピコンテストを青森県教育委員会等と共催で実施し、食育推進の支援を行った。</p> <table border="1" data-bbox="512 1518 1423 1742"> <thead> <tr> <th colspan="2">令和6年度実施状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>応募数</td> <td>697点(36校) (小学校186点、中学校495点、特別支援学校16点)</td> </tr> <tr> <td>表彰数</td> <td>最優秀賞 小学校の部・中学校の部・特別支援学校の部 各1点 優秀賞 小学校の部2点、特別支援学校の部1点、中学校の部4点</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	貸与施設数	助成対象事業者	県産品フードモデルの貸出	6ヶ所	八戸市立学校北地区給食センター等	事業名	貸与施設数	助成対象事業者	フードモデル(教材セット)の貸出	20ヶ所	中泊町学校給食センター等	事業名	助成金額	助成対象事業者	PTA食育活動支援事業	25,000円	東北町立上北小学校PTA (参加人員 71名)	令和6年度実施状況		応募数	697点(36校) (小学校186点、中学校495点、特別支援学校16点)	表彰数	最優秀賞 小学校の部・中学校の部・特別支援学校の部 各1点 優秀賞 小学校の部2点、特別支援学校の部1点、中学校の部4点
事業名	貸与施設数	助成対象事業者																							
県産品フードモデルの貸出	6ヶ所	八戸市立学校北地区給食センター等																							
事業名	貸与施設数	助成対象事業者																							
フードモデル(教材セット)の貸出	20ヶ所	中泊町学校給食センター等																							
事業名	助成金額	助成対象事業者																							
PTA食育活動支援事業	25,000円	東北町立上北小学校PTA (参加人員 71名)																							
令和6年度実施状況																									
応募数	697点(36校) (小学校186点、中学校495点、特別支援学校16点)																								
表彰数	最優秀賞 小学校の部・中学校の部・特別支援学校の部 各1点 優秀賞 小学校の部2点、特別支援学校の部1点、中学校の部4点																								
<p>取組の具体的な手法 や特徴的なこと (他団体との連携など)</p>	<p>青森県学校給食センター連絡協議会、青森県学校栄養士協議会及び青森県PTA連合会との連携を図り、食育の普及啓発を効果的に行うとともに、生産者団体等の協力を得て、地産地消の商品開発に努めている。</p>																								

8 青森県学校給食センター連絡協議会

第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-2
活動内容・参加者等	学校給食センターの運営を円滑に推進するために、食育及び食品ロス削減等に関する研修会等を開催し、食育推進事業に取り組んだ。
取組の具体的手法や特徴的なこと (他団体との連携など)	学校給食関係団体と連携して、食育推進事業を支援していきたい。

9 青森県養護教諭会

<p>第4次食育推進 計画への位置付け</p>	<p>基本方向 1 - 2</p>
<p>活動内容・ 参加者等</p>	<p>○会員各自が、勤務校において、家庭・地域・関係機関と連携を図りながら、食育に関する内容に取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭や学校栄養職員と連携し、発達段階や子どもたちの実態に応じた学級・学年における「食」に関する指導の計画・実施。 ・学校保健委員会等で、「食」をテーマに取り上げ、健康な体づくりについて家庭や地域と考える場の設定と実施。 ・食物アレルギーについて、児童生徒の詳細な状況把握と職員への周知、職員を対象とした研修の実施。 ・参観日やPTA委員会等での「食」に関する講話や給食試食会、調理実習等の実施。
<p>取組の具体的手法 や特徴的なこと (他団体との連携など)</p>	<p>栄養教諭や学校栄養職員が配置されていない学校に勤務する会員が多く、校務分掌の中でも「食育」や「給食」に携わることが多い。そのため、養護教諭が自校の実態から、多岐にわたる健康課題を「食」と関連付けながら関係職員・関係機関と連携し、実態改善に向けた取組を行うことができる。</p>

10 青森県学校栄養士協議会

事業名 ①	ふるさと産品給食の日
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-2、3-2、3-3、配慮すべき事項2
期 日	6月、11月
場 所	各施設及び受配校
活動内容・参加者等	・地域や県産の食材を使用した学校給食の献立を作成し、給食だよりや校内放送で県産品や地域の産物を紹介し、児童・生徒や保護者に対して地産地消の啓発を行ったり、献立を活用し、地域の特産物等についての授業を行ったりした。
事業名 ②	生活習慣病予防対策を含めた食に関する指導及び健康課題対策のための個別的な相談指導
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-2、2-1、配慮すべき事項1
期 日	通年
場 所	各施設及び受配校
活動内容・参加者等	・各施設でテーマに「生活習慣病予防」をとりあげ、ICTを活用して家庭科や保健体育の授業を行った。 ・食に関する健康課題のある児童・生徒に対して個別的な相談指導を行った。
取組の具体的手法や特徴的なこと(他団体との連携など)	・地域の農家の方と連携しオーガニック野菜を使用したり、地域にある農業高校と連携し伝統野菜を給食に取り入れたりしている。 ・春と冬にスキルアップのための研修会を設けている

1 1 特定非営利活動法人青森県消費者協会

事業名 ①	地産地消推進事業・県産食材利用推進事業（5回）
第4次食育推進計画への位置付	基本方向1-1、1-5
期 日	令和6年4月～令和7年3月
場 所	青森市
活動内容・参加者等	<p>県産品に親しみ、利用拡大するための講演会及び料理講習会の開催</p> <p>■7月13日（土） 親子で学ぼう！消費生活「親子でつくる！子どもワクワク豚肉料理」 講師：青森県中央短期大学食物栄養学科 特任講師 池田友子氏 会場：県民福祉プラザ 5F 調理実習室 参加者：親子8組（保護者9名、児童9名） 一般社団法人青森県養豚協会（共催）</p> <p>■7月28日（日） 親子で学ぼう！消費生活「青森ほたて親子料理教室」 講師：栄養士 水嶋優子氏、須藤裕子氏 会場：アピオあおもり 1F 調理実習室 参加者：親子11組（保護者11名、児童14名） 青森県ほたて流通振興協会（共催）</p> <p>■11月6日（水） 第58回青森県消費者大会 食の安全・安心及び県産食材利用推進のため、14団体から出展 会場：県民福祉プラザ 4F 交流スペース 大・中研修室</p> <p>■11月22日（金） 消費生活大学院講座「県産豚肉料理教室」 講師：栄養士 今井裕子氏 会場：県民福祉プラザ 5F 調理実習室 参加者：13名 一般社団法人青森県養豚協会（共催）</p> <p>■11月30日（土） 親子で学ぼう！消費生活「親子で一緒に作ろう！豚肉料理で楽しいクリスマス」 講師：青森県中央短期大学食物栄養学科 特任講師 池田友子氏 会場：県民福祉プラザ 5F 調理実習室 参加者：親子8組（保護者8名、児童11名） 一般社団法人青森県養豚協会（共催）</p>

事業名②	食の安全・安心推進事業（3回）
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向2-1、3-2
期 日	令和6年4月～令和7年3月
場 所	青森市
活動内容・参加者等	<p>食の安全・安心の推進について専門家を招き、講演会及び料理講習会の開催</p> <p>■ 8月21日（水） 令和6年度消費生活大学講座 第4回＜県からの受託事業＞ 「糖尿病からダイアベティス～あなたの糖尿病の知識は最新ですか？～」 講師：内科おひさまクリニック 副院長 小倉絵理子氏 会場：県民福祉プラザ 4F 県民ホール 参加者：117名（うち、19名YouTube参加）</p> <p>■ 10月18日（金） 消費生活大学院講座「青森県の歴史 缶詰王国あおもり」 講師：青森県立郷土館 主任学芸主査 増田公寧氏 会場：県民福祉プラザ 4F 多目的室4A 参加者：10名</p> <p>■ 12月19日（木） 消費生活大学院講座「シニアカフェ～フレイル予防講話&調理」 講師：青森市食生活改善推進員会 会長他3名（計4名） 会場：県民福祉プラザ 5F 調理実習室 参加者：8名</p>
取組の具体的手法や特徴的なこと (他団体との連携など)	<ul style="list-style-type: none"> ・料理教室では、青森県養豚協会と青森県ほたて流通振興協会から食材提供のご協力をいただいた。 ・消費生活大学講座では、来場できない方でも受講できるよう、講演後2週間程度のYouTube配信を行った。

1 2 青森県食生活改善推進員連絡協議会

事業名 ①	おやこの食育教室
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-1、3-2
期 日	令和6年7月～令和7年1月末まで
場 所	県内12ヶ所
活動内容・参加者等	<ul style="list-style-type: none"> ・「朝食をとること」「うす味(減塩)に慣れること」に重点を置く。 ・親子で調理体験することで、食事の大切さを学び、親子のコミュニケーションの場を提供する。 ・年長児から小学生と保護者。(内容が理解できる年齢として、主に小学生を対象) 
事業名 ②	生涯骨太クッキング(生活習慣病とロコモ予防)
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-5、2-3
期 日	令和6年9月～令和7年1月末まで
場 所	県内8ヶ所
活動内容・参加者等	<ul style="list-style-type: none"> ・フレイル予防をテーマに、低栄養、ロコモ、認知症予防に取り組む。 ・「運動・身体活動」「社会参加(人とのつながり)」推進に取り組む。 ・調理体験が可能なら、感染防止対策をしながら実施。 ・地域住民、成人から高齢者。

事業名 ③	男性料理教室(自由選択事業)
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-5、2-3、3-2
期 日	令和6年8月～令和7年1月末まで
場 所	青森市
活動内容・参加者等	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援に向けて、「生きていくための20品目」をテーマに、料理教室を実施。 ・成人男性。(男性の社会参加や仲間づくりのきっかけ提供)
事業名 ④	郷土・伝統料理教室(選択事業)
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-1、1-2、2-3、3-2
期 日	令和6年9月～令和7年1月末まで
場 所	外ヶ浜町三厩、平川市
活動内容・参加者等	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の食文化の保護、継承を図る。 ・伝統食材を始めとした地域の食材を生かした郷土料理や伝統料理、地域や家庭で受け継がれてきた料理や味、食事の食べ方、作法について、次世代を含む地域住民に伝えることを目的とする。
事業名 ⑤	食生活改善推進員が牽引するヘルスサポーター養成事業
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-3、1-5、2-3
期 日	令和6年9月～令和7年1月末まで
場 所	若者世代6ヶ所、働き世代6ヶ所、高齢世代(シニアカフェ)20ヶ所
活動内容・参加者等	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルスサポーターを育成することで、地域とのつながりの強化や主体的に健康づくりを進める人の増加、さらに社会参加を促進する。 ・「誰一人取り残さない社会の実現」を図る。
事業名 ⑥	乳児健診等におけるだし活減塩活動(県委託)
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-1
期 日	令和6年4月～令和7年3月末まで
場 所	全市町村

<p>活動内容・ 参加者等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・だしの試飲→試供品の試飲。 ・試供品の提供とちらしの配布。 ・アンケートの実施。 ・1才6ヶ月児健診へ来所する保護者とその子ども。 
<p>事業名 ⑦</p>	<p>かんたん野菜レシピ普及事業(県委託)</p>
<p>第4次食育推進 計画への位置付け</p>	<p>基本方向1-1、1-3</p>
<p>期 日</p>	<p>令和6年9月～令和7年1月末まで</p>
<p>場 所</p>	<p>各保健所管内 4～5回</p>
<p>活動内容・ 参加者等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県民の野菜摂取量の増加を図るため、簡単にできる野菜料理の試食とレシピの提供及びアンケートの実施。 ・若い世代、働き盛り世代を中心。
<p>取組の具体的手法 や特徴的なこと (他団体との連携など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・検温、手洗い消毒の徹底、マスク着用、会員自身の健康管理の徹底。 ・国や各市町村の方針に基づき、感染防止対策を徹底した上で、活動を進める。

1 3 青森県生活協同組合連合会

事業名 ①	JA 共済きずなの青い森プロジェクト 食育プログラム
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-5、3-3
期 日	①7月23日(火) ②10月4日(金) ※次年度も継続
場 所	平内町弁慶地区(JA きずなの青い森) 平内町山村開発センター
活動内容・参加者等	JA 共済連青森主催「きずなの青い森プロジェクト」(森林・木工・食育プログラム)の、食育プログラムを担当。県産農産物や食品ロスに関するビンゴクイズを実施し、理解を深めた。①平内の小学5・6年生40名②農協・生協・森林組合の組合員・町民等40名。
事業名②	柴田学園大学との「食と健康」共同研究
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向2-1、3-3
活動内容・参加者等	①健康づくりの食事の「つくる気になるメニュー」に関する調査(アンケート2回 各250人。完成冊子「コツコツ毎日カルシウム」1,800冊の活用開始) ②健康づくり公開講座の共催(人数はアンケート回答者数) 7月26日(金) 弘前市ヒロロ「食と栄養 ウソ・ホント」45人 8月20日(火) おいらせ町「人生100年時代の栄養学」10人 8月23日(金) 青森市アウガ「肥満から考える食と健康」32人 高校等への案内により10代10人、20代12人の参加があった。
事業名 ③	ベジチェックによる野菜摂取推定量の測定
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-5
活動内容・参加者等	会員生協の活動場面、まちかど健康チェック等の健康度測定会、生協店舗での巡回測定会、生協大会等で、ベジチェックによる測定会を実施し、野菜を食べようのアピールを実施。県生協連としては、青森大学祭で実施。4月～11月迄で8,495人が測定

事業名 ④	食べる・たいせつ フォーラムの開催計画（2025年2月8日）																																																						
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-5、2-1、3-1、3-3																																																						
活動内容・参加者等	<p>第1部：「食」と「環境」、「食育」「地産地消」「フードバンク」「健康」などをテーマに「食べる・たいせつ」展示と体験コーナー</p> <p>第2部：「食」と「環境」を未来につなぐ「みどりの食料システム戦略」と県内の実践をテーマに「食」と「環境」公開講座</p>																																																						
事業名 ⑤	QOL健診（生協版）の開催																																																						
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-3、2-1																																																						
活動内容・参加者等	<p>生協の施設やイベント会場において、弘前大学 COI が開発した「QOL 健診（簡易版）」を県医師会「健やか力推進センター」との共催で実施。問診を含め5つの測定の後、結果シートをもとに専門家による説明を受けていただき、生活習慣課題を確認できる測定会。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="6">QOL 健診(生協版)</th> </tr> <tr> <th>開催地</th> <th>開催日</th> <th>主催</th> <th>会場</th> <th>受診数</th> <th>内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>弘前市</td> <td>4月20日（土）</td> <td>コープあおもり</td> <td>和徳店集会室</td> <td>61</td> <td>コープあおもり組合員</td> </tr> <tr> <td>青森市</td> <td>10月1日（火）</td> <td>県民生協</td> <td>八重田店</td> <td>60</td> <td>取引先5社・2店舗職員 本部職員・組合員</td> </tr> <tr> <td>青森市</td> <td>11月10日（日）</td> <td>青森保健生協</td> <td>産業会館・健康まつり</td> <td>152</td> <td>市民・組合員</td> </tr> <tr> <td>弘前市</td> <td>11月26日（火）</td> <td>弘大生協</td> <td>食堂多目的スペース</td> <td>48</td> <td>学生・職員</td> </tr> <tr> <td>八戸市</td> <td>3月1日（土）</td> <td>コープあおもり</td> <td>るいけ店ホール</td> <td></td> <td>市民・組合員</td> </tr> <tr> <td>むつ市</td> <td>3月15日（土）</td> <td>コープあおもり</td> <td>下北文化会館</td> <td></td> <td>市民・組合員</td> </tr> <tr> <td colspan="4"></td> <td>321</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	QOL 健診(生協版)						開催地	開催日	主催	会場	受診数	内訳	弘前市	4月20日（土）	コープあおもり	和徳店集会室	61	コープあおもり組合員	青森市	10月1日（火）	県民生協	八重田店	60	取引先5社・2店舗職員 本部職員・組合員	青森市	11月10日（日）	青森保健生協	産業会館・健康まつり	152	市民・組合員	弘前市	11月26日（火）	弘大生協	食堂多目的スペース	48	学生・職員	八戸市	3月1日（土）	コープあおもり	るいけ店ホール		市民・組合員	むつ市	3月15日（土）	コープあおもり	下北文化会館		市民・組合員					321	
QOL 健診(生協版)																																																							
開催地	開催日	主催	会場	受診数	内訳																																																		
弘前市	4月20日（土）	コープあおもり	和徳店集会室	61	コープあおもり組合員																																																		
青森市	10月1日（火）	県民生協	八重田店	60	取引先5社・2店舗職員 本部職員・組合員																																																		
青森市	11月10日（日）	青森保健生協	産業会館・健康まつり	152	市民・組合員																																																		
弘前市	11月26日（火）	弘大生協	食堂多目的スペース	48	学生・職員																																																		
八戸市	3月1日（土）	コープあおもり	るいけ店ホール		市民・組合員																																																		
むつ市	3月15日（土）	コープあおもり	下北文化会館		市民・組合員																																																		
				321																																																			
事業名 ⑥	会員生協による食育の取組より																																																						
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-5、2-1、3-1、3-3																																																						
活動内容・参加者等	<p>①食べて健康フェア（7/7～）【県民生協&青森保健生協】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健生協の管理栄養士が作った健康レシピをチラシに掲載 ・11店舗で保健生協93名による健康チェック活動217名参加 <p>②食の安全、食と健康、産直等学習会【コープあおもり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年3回開催するつどいのテーマとして、県内一斉開催 ・6地域の自主企画として開催 																																																						

	<p>③エシカル消費キャンペーン【県民生協・コープあおもり】 県内 16 店舗でコープのエシカル商品キャンペーン開催</p> <p>④すこしおチャレンジ 【青森保健生協・八戸医療生協・コープあおもり】</p> <p>3 カ月間の尿塩分測定をしながら塩分摂取量を減らす取り組みにチャレンジ。すこしお学習会や料理教室を開催。</p> <p>④フードドライブ・フードバンク・フードサポート 【県民生協・コープあおもり・青森保健生協・青森県生協連】</p> <p>⑤弘前大学学生食堂（Horest）での学生の取り組み【弘大生協】</p> <p>i みんな DE ごはん 4月4回開催 106名参加 新入生に対し、学生委員より、食堂の使い方・自炊についてなど食に関する知識を提供し、一緒に食べて友達づくり</p> <p>ii 弘前大学6次産業化マイスター育成プログラム 7月18・19日 「けのあんチャーハン」を開発し、食堂で1,332食販売</p> <p>iii 健康安全まつり 10月19日～20日 1,036名参加 測定と体験を通じて、自分の健康や安全に対する意識を高めてもらい、生活習慣を見直し、正しい知識を身に付けてもらう。</p>
--	--

1 4 青森県生活研究グループ連絡協議会

事業名 ①	“津軽の味っこ” 伝承料理講習会（弘前地区連）
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向3-1、3-2
期 日	ア 令和6年8月19日（月） イ 令和6年12月19日（木）
場 所	ア 弘前市中央公民館相馬館調理実習室 イ 弘前市清水交流センター調理実習室
活動内容・参加者等	<p>【内容】</p> <p>郷土料理の調理実習</p> <p>ア とうもろこしご飯、米粉のグラタン、なすのしそ巻き、きゅうりの塩こうじ漬け、しそジュース</p> <p>イ かすべのともあえ、ほたておこわ、きのこのしおからの汁</p> <p>【参加者】</p> <p>ア 弘前市民13名、会員3名、 中南地域県民局地域農林水産部2名 計18名</p> <p>イ 弘前市民22名、会員5名、 中南地域県民局地域農林水産部2名 計29名</p>
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>実習の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>完成した料理</p> </div> </div> <p>*平成24年から開催し、今年で13年目（計15回）</p>
事業名 ②	グループ員研修会（五所川原地区連）
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向3-2
期 日	令和6年12月11日（水）
場 所	コミュニティセンター三好

<p>活動内容・ 参加者等</p>	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最高齢の会員が講師となり、津軽の郷土料理である「うんぺい」の作り方について、会員に伝承 <p>【参加者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員 9名 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;"> 実習の様子 完成したうんぺい </p>
<p>事業名 ③</p>	<p>第39回 つがる市くらしの工夫展（つがる市連）</p>
<p>第4次食育推進 計画への位置付け</p>	<p>基本方向3-1、3-2</p>
<p>期 日</p>	<p>令和7年2月7日（金）※開催見込み</p>
<p>場 所</p>	<p>つがる市生涯学習交流センター 松の館</p>
<p>活動内容・ 参加者等</p>	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つがる市の農林水産物を使った料理や次世代に伝えたい料理の展示 ・女性団体による農産物や加工品の販売 ほか <p>【参加者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活改善グループや女性団体、一般市民 約200名
<p>事業名 ④</p>	<p>令和6年度「手づくりの味と技を楽しむ会」（鱸ヶ沢地区連）</p>
<p>第4次食育推進 計画への位置付け</p>	<p>基本方向3-1、3-2</p>
<p>期 日</p>	<p>令和6年9月16日（火）</p>
<p>場 所</p>	<p>鱸ヶ沢町総合保健福祉センター 栄養指導室</p>
<p>活動内容・ 参加者等</p>	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郷土料理・地産地消料理の調理実習による、生産者と消費者の交流 ・調理実習 たんぽ（味噌だれ、ごまだれ）、かぼちゃコロッケ、

	<p>もずくの味噌汁</p> <p>・実演 きゅうりの三五八漬け</p> <p>【参加者】</p> <p>・一般消費者11名、会員13名</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">  </div> <p style="text-align: center;">開催の様子</p> <p style="text-align: center;">たんぽとかぼちゃコロケ</p>
<p>事業名 ⑤</p>	<p>郷土料理体験の受入</p>
<p>第4次食育推進 計画への位置付け</p>	<p>基本方向1-2、3-2</p>
<p>期 日</p>	<p>令和6年11月9日(土)</p>
<p>場 所</p>	<p>まなかのカフェ(東北町)</p>
<p>活動内容・ 参加者等</p>	<p>【内 容】</p> <p>・そばもちづくり</p> <p>【参加者】</p> <p>・東北町文化保育園の園児と保護者24名</p> <p>【講 師】</p> <p>・東北町特産品販売促進協議会4名</p>
<p>取組の具体的手法 や特徴的なこと (他団体との連携など)</p>	<p>(弘前地区連)</p> <p>・会員が講師となり、長年の活動で習得した知識や技術を生かして地域に伝わる郷土料理と食文化を伝承している。</p> <p>(五所川原地区連)</p> <p>・講師となった会員は郷土料理に詳しく、自らが持つ技術を伝承したいと行われた研修会である。</p> <p>(鱒ヶ沢地区連)</p> <p>・会員が培った調理技術を生かし、地元食材を用いた調理実習により地産地消の推進と食文化の伝承を進めている</p>

15 青森県農業協同組合中央会

事業名①	バケツ稲作り体験の実施
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-2
期日	4月～10月
場所	希望する県内全小学校
活動内容・参加者等	<p>目的</p> <p>J Aグループがすすめる「みんなのよい食プロジェクト」の一環として、バケツで稲を育てるという一連の農作業を通して、米や稲作文化だけではなく、広く農業全般についての学習機会をつくり、農業の持つ多面的機能への理解を深めてもらい、ごはん食を中心とした日本型食生活や国産農畜産物への関心を高めるきっかけとすること。</p> <p>対象</p> <p>希望する県内全小学生</p> <p>活動内容</p> <p>種もみとバケツを使って稲を育てるという、一連の栽培過程を体験する。</p> <p>実績</p> <p>令和6年度実施校：37校、 対象児童数：1,363人</p>
取組の具体的手法や特徴的なこと (他団体との連携など)	県内の各J Aが準備や栽培指導を実施。

事業名 ②	小学5年生社会科副読本「いのちをはぐくむあおもりの農林水産業」の編集・発行
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-2
期 日	4月～3月
場 所	県内全小学校他（配布先）
活動内容・参加者等	<p>目 的</p> <p>青森県の基幹産業である一次産業、農業・林業・水産業の正しい姿を伝えることや環境保全・伝統文化継承など農林水産業の果たす役割を理解してもらい、「いのち」の大切さ、「食料」の重要性を学んでもらうこと。</p> <p>対 象</p> <p>県内全小学生（5年生全員）</p> <p>活動内容</p> <p>社会科副読本（児童用・教師用）を作成・発行するため、県内小学校教諭を構成員とする編集委員会を設置し、現在使用されている教科書との整合性を図るとともに、改訂部分の修正や指導に関わる内容について見直す等の編集作業を行い、発行・配布している。</p> <p>実 績</p> <p>令和6年度版：児童用約1万部、教師約1,200部を配布</p>
取組の具体的な手法や特徴的なこと（他団体との連携など）	一般社団法人青森県水産振興連合会、青森県森林組合連合会、青森県土地改良事業団体連合会、青森県教育庁、青森県とJA青森中央会が、県内小学校教諭の協力を得て企画・編集。

事業名 ③	第43回青森県「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクールの実施
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-2
期 日	5月～12月
場 所	青森県農協会館（受付、審査等）
活動内容・参加者等	<p>目 的</p> <p>県内小中学生が、ごはんやお米等とのかかわりを題材とした作文・図画の作成を通じて、稲作をはじめとする農業についての学ぶとともに、食料・農業の重要性への理解を深めてもらうこと。</p> <p>対 象</p> <p>県内小・中学生</p> <p>活動内容</p> <p>作文・図画両部門共通のテーマとして、毎日のごはんでおいしかったことや家族とのコミュニケーション、お米・ごはん食に関する思い出や考えたことなどを自由に表現してもらう。</p> <p>実 績</p> <p>令和6年度応募状況 作文：214点（45校） 図画：251点（62校）</p>
取組の具体的な手法や特徴的なこと（他団体との連携など）	県内教育関係者や青森児童美術研究会、東奥日報社を構成員とする審査委員会を設置し、入選作品を選定。

事業名 ④	東奥日報社女性倶楽部「ジョシマル」を活用した農業・JAへの理解促進に係るイベントの実施
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-5
期 日	①9月7日 ②11月2日
場 所	①JA青森管内 園地、羽白野菜センター、JA青森本店、JA青森直売所「あすなろ直売センター」、たか久、三内丸山遺跡 ②JAゆうき青森管内 JAゆうき青森天間林営農センター、にんにく選果場、Aコープ天間林店、園地、杉屋敷奥山、鷹山宇一記念美術館、道の駅しちのへ
活動内容・参加者等	<p>①美味しさを丸々堪能♪トマト収穫体験ツアー in 青森 ②美味しさと楽しさをぎゅっと凝縮！アピオス収穫体験ツアー in 七戸町</p> <p>目 的</p> <p>①②共に 野菜や果物などの収穫や学習・視察等を通して、ジョシマル会員および一般消費者等に農業の魅力・現状を知ってもらうこと。</p> <p>対 象</p> <p>①②共に ジョシマル会員および一般消費者等（応募方式）20人対象。</p> <p>活動内容</p> <p>JA青森管内で生産されているトマトの収穫体験やJAゆうき青森管内で生産されているアピオスの収穫体験を実施するとともに、JA施設等を訪れ、生産現場での苦労や創意工夫、収穫の喜び、また、JAに対する理解醸成を目的としている。 また、県産農産物をふんだんに使った特別ランチを味わったり、地域にまつわる体験、見学を通じて地元の魅力を再発見してもらう。</p> <p>実 績</p> <p>①定員20名に対し、応募が45名。 満足度アンケート調査結果：満足した84%（他は未記入） ②定員20名に対し、応募が93名。 満足度アンケート調査結果：満足した100%</p>
取組の具体的な手法や特徴的なこと（他団体との連携など）	東奥日報社女性倶楽部「ジョシマル」と共催。ジョシマル会員へのメールマガジンや東奥日報新聞記事でイベント周知し、参加者を募っている。

事業名 ⑤	農業高校とJAの連携活動
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-2
期 日	①7月2日、②8月23日、③9月12日、④10月25日
場 所	<p>①JA津軽みらい管内 JA津軽みらい本店、黒石中央りんごセンター、黒石支店、やすらぎホール黒石、平川カントリーエレベーター、産直センターひらか</p> <p>②青森県立名久井農業高等学校</p> <p>③JA八戸管内 名川野菜集出荷場、三戸営農センター、三戸グリーンセンター、JA八戸南部支店</p> <p>④JAつがるにしきた、JAごしょつがる管内 ごしょがわらライスセンター、ごしょつがるグローバルライス、ごしょつがる集出荷貯蔵施設、ごしょつがる中央りんごセンター、JAごしょつがる直売所「まるっと新鮮館」、JAつがるにしきた育苗センター、JAつがるにしきた津軽北部統括支店</p>
活動内容・参加者等	<p>①青森県立柏木農業高等学校生徒によるJA津軽みらい施設見学</p> <p>②青森県立名久井農業高等学校への農業・JA理解促進のための出前授業</p> <p>③青森県立名久井農業高等学校生徒によるJA八戸施設見学</p> <p>④青森県立五所川原農林高等学校生徒によるJAつがるにしきた、JAごしょつがる施設見学</p> <p>目 的</p> <p>①②③④共に JA各施設の見学とJA新人職員との意見交換会を通じて、県内農業高校生のJA理解を深めること。また、JAを身近に感じてもらうことで、JAを就職選択先の1つとしてもらうこと。</p> <p>対 象</p> <p>①青森県立柏木農業高等学校 生物生産科17名、環境工学科13名、 食品科学科15名、教員</p> <p>②③共に 青森県立名久井農業高等学校 生物生産科2年生30名、教員</p> <p>④青森県立五所川原農林高等学校 生物生産科1年生24名、教員</p> <p>活動内容</p> <p>①③④共に</p>

	<p>連携活動では、J Aおよび農業に対する理解を深めてもらうため、J A施設の見学やJ A事業の紹介、J A新人職員との意見交換を実施している。</p> <p>②出前授業では、施設見学前に中央会職員が学校に出向き、J Aや事業について授業やアクティブラーニングを行い、生徒にJ Aに対する予備知識を得てもらう。</p> <p>実 績</p> <p>令和3年度 J A十和田おいらせと青森県立三本木農業高等学校（現在：三本木農業恵拓高等学校）で実施。 対象：植物科学科2年生32名、教員2名</p> <p>令和4年度 J A津軽みらいと青森県立柏木農業高等学校で実施。 対象：生物生産科1年生15名、2年生：15名、3年生：2名 食品科学科3年生2名、生活科学科3年生：2名</p> <p>令和5年度 J A津軽みらいと青森県立柏木農業高等学校およびJ A八戸と青森県立名久井農業高等学校で実施。 対象：青森県立柏木農業高等学校 生物生産科2年生32名、教員 青森県立名久井農業高等学校 生物生産科2年生28名、教員</p> <p>令和6年度 J A津軽みらいと青森県立柏木農業高等学校およびJ A八戸と青森県立名久井農業高等学校ならびにJ Aつがるにしきた、J Aごしょつがると青森県立五所川原農林高等学校で実施。 対象：青森県立柏木農業高等学校 生物生産科17名、環境工学科13名、 食品科学科15名、教員 青森県立名久井農業高等学校 生物生産科2年生30名、教員 青森県立五所川原農林高等学校 生物生産科1年生24名、教員</p>
<p>取組の具体的手法 や特徴的なこと (他団体との連携など)</p>	<p>青森県立五所川原農林高等学校生徒によるJ A施設見学は、J Aつがるにしきた、J Aごしょつがるの2 J A合同で実施。</p>
<p>備 考</p>	<p>令和4年度以降は、J A十和田おいらせと青森県立三本木農業恵拓高等学校で年1回の施設見学を継続（中央会はサポートを実施）。</p>

1 6 全国農業協同組合連合会青森県本部

事業名 ①	食育絵本を活用した、おにぎり教室の実施
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-2、3-2、3-3
期 日	6月～11月
場 所	県内幼稚園・保育園
活動内容・参加者等	青森米本部主催のおにぎり教室と連携し、県内の20の幼稚園及び保育園において本会作成のオリジナル絵本を活用した読み聞かせを実施し子どもたちへの「食」への関心を高め「県産品」、「地産地消」に対する理解を深めた。
事業名 ②	子ども食堂への新米贈呈
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向2-3、3-2
期 日	10月12日
場 所	県内子ども食堂
活動内容・参加者等	「青天の霹靂」の日(10/10)及びデビュー10周年に合わせて青森県社会福祉協議会を通じ、県内85か所の子ども食堂へ新米の「青天の霹靂」を贈呈した。地域食材および農業への理解促進を図った。
事業名 ③	令和6年度やさい作品コンクール
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-2、3-1
期 日	①募集期間 7月1日(月)～9月6日(金) ②審査会 10月31日(木)～9月6日(金) ③入賞展示 11月23日(土)～11月24日(日) ※表彰式は行わず、各小学校からの授与。
場 所	①募集期間 青森県農協会館 ②審査会 青森県農協会館 ③入賞展示 サンロード青森 2階 催事ホール

<p>活動内容・ 参加者等</p>	<p>子どもの頃から県産やさいに関する知識を深め、郷土で生産されたやさいに愛情を持ってもらうことを目的として県内の小学生を対象に開催した。</p> <p>応募点数 図画：545点 習字（半紙）：3,439点 習字（条幅）：161点 合計：4,145点</p> <p>入賞点数 図画：39点 習字（半紙）：39点 習字（条幅）：39点 合計：117点</p> <p>青森市教育委員会の図画工作科部会・国語部会から推薦いただいた審査員に審査を委嘱している。継続開催することで本コンクールへの目的や意義が各校や家庭、地域に浸透していることや食生活に欠かすことのできない野菜、勤労の尊さを身近に感じられる作品が多かったことの講評をいただいている。</p>
-----------------------	---

17 一般社団法人青森県りんご対策協議会

事業名 ①	青森りんごキッズ向けサイト（「青森りんご for キッズ」）
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向 1-2、配慮すべき事項 1
期 日	通年
場 所	WEB
活動内容・参加者等	<p>現代の生活様式（幼少期から IT が身近にある環境）や授業形態の変化（小学校低学年からのタブレット端末活用やネット検索による学び）に対応するため、青森りんご食育総合サイト「青森りんご for キッズ」を開設。情報更新を随時行っている。</p> <p>今年度は新たに小学校の家庭科学習で活用可能なレシピシート（無料ダウンロード）を整備したほか、振り返り学習がゲーム感覚でできる「りんご検定 jr.」を公開しており、年々サイトの利用者は増えている。</p>
事業名 ②	学習用資材作製
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向 1-2
期 日	通年
場 所	全国
活動内容・参加者等	<p>青森県産りんごの品種や栽培方法について記載した下敷きなどの教育資材を作製。</p> <p>今年度は「青森りんご植栽150周年特別企画」として、全国の小学校を対象とした公募制による下敷きプレゼント企画を実施中。</p> <p>応募にあたっては、授業（社会科や地域学習等）教材として活用することを条件としている。</p>
取組の具体的な手法や特徴的なこと（他団体との連携など）	<p>その他、全国の管理栄養士養成課程のある大学約50校と連携し、栄養教諭や管理栄養士を目指す学生を対象とした「青森りんご次世代オピニオンリーダー育成事業」（りんごと学習冊子を教材提供、りんごを使ったオリジナルレシピコンテスト開催）を実施しているほか、各地区青森りんごの会を通じて、全国の幼稚園・小学校等でりんごの食育活動を展開している。</p>

18 公益財団法人青森県りんご協会

事業名 ①	りんご食育授業
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-2
期 日	令和7年2月13日
場 所	福岡市立弥生小学校 福岡市立愛宕浜小学校
活動内容・参加者等	<ul style="list-style-type: none"> ・試食含む食育及び県産りんごPR ・県福岡情報センター協力の元、実施予定
事業名 ②	りんご食育授業
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-2
期 日	令和7年1月23日
場 所	東京都品川区立戸越小学校
活動内容・参加者等	<ul style="list-style-type: none"> ・食育及び県産りんごPR ・県東京事務所協力の元、WEBで実施予定

19 青森県漁業協同組合連合会

事業名 ①	出前講座/料理教室
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向 1-2
期 日	年次数回
場 所	県内小学校/中学校
活動内容・参加者等	出前講座：県内小学校(2ヶ所)において、ほたて養殖漁業とほたてについての特別授業を開催。 料理教室：ほたて及び地元の食材(魚介類)使用し、青森県消費者協会親子教室(1回)と中学校料理教室(2回)を実施。
事業名 ②	水産フェア
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向 3-1
期 日	11月30日
場 所	青森県水産ビル敷地内(青森市安方)
活動内容・参加者等	各浜で水揚げされる旬の魚介類加工品を消費者へPRすることを目的に開催。県内各地域から参加型企画として本会を含む6団体が出店。十三湖産しじみやキン目、ムラサキイカ、いか焼、さざえの他、新たな加工品も数多く販売。
事業名 ③	青森ほたて料理ガイドブック
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向 3-2
期 日	通年
場 所	随時(加工業者、イベント時に配布)
活動内容・参加者等	青森ほたてお料理ガイド及び青森ほたて干貝柱料理ブックを作成し配布
備 考	①、③は青森県ほたて流通振興協会が主体

20 公益社団法人青森県物産振興協会

事業名①	県内催事等への県内事業者の出店支援
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向3-1
期日	不定期（通年）
場所	県内量販店、新青森駅、アスパム等
活動内容・参加者等	<p>県内の催事等に出店する事業者の募集、取りまとめを行い、事業者の販売を支援した。</p> <p>消費者に対して、出店事業者が農林水産物やその加工品の魅力をPRしながら販売を行った。</p>

2 1 青森県商工会連合会

事業名 ①	新商品開発等の新分野を捉えた新たな事業への展開
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向2-3
期 日	令和6年7月～令和6年12月31日
場 所	県内各ブロックにおいて活動
活動内容・参加者等	地産地消の促進や地域住民とのコミュニティの形成の促進を図る。地元食材を活用したおもてなしグルメを地元飲食店でご当地グルメとして提供、祭り・イベントでの出店に提供するなど新しい事業へ展開していく。

2 2 株式会社ユニバーズ

事業名 ①	カルビー スナックスクール
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-2、3-1
期 日	令和6年3月6日
場 所	八戸市立新井田小学校
活動内容・参加者等	<ul style="list-style-type: none"> ・新井田小学校3年生が対象 ・おやつ必要性(量や時間)や商品の裏(原材料表示)の見方を勉強し、望ましい食習慣・自己管理能力を学習する授業です。
事業名 ②	キッコーマン食品 減塩教室
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-2、2-1
期 日	令和6年7月11日
場 所	青森市立新城小学校
活動内容・参加者等	<ul style="list-style-type: none"> ・新城小学校の5年生、6年生と保護者が対象 ・食事に含まれる食塩の量を予想したり、減塩醤油の作り方を学びながら、自分で出来る減塩の方法を考える授業です。
事業名 ③	エスビー食品 スパイス教室
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-2、3-1
期 日	令和6年9月26日
場 所	青森市立筒井南小学校
活動内容・参加者等	<ul style="list-style-type: none"> ・筒井南小学校4年生が対象 ・スパイスとハーブの特性や使い方をクイズ形式で学んだあとに 実際に臭いを嗅いだり、触れながら勉強する。 ・オリジナルのカレー粉をつくり、スナック菓子に混ぜて試食もしました。

事業名 ④	環境にやさしい「特別栽培めえにんじん」「エコにんじん」 ×ヴァンラーレ八戸コラボ商品の販売
第4次食育推進 計画への位置付け	基本方向3-1、3-3
期 日	令和6年11月15日～
場 所	ユニバース（BH・PU除く）全店
活動内容・ 参加者等	・店舗で発生した食品残渣を食品リサイクル業者が堆肥化して 生産した人参と、農薬及び化学肥料の使用を低減して栽培した 人参の販売を実施。
事業名 ⑤	キッコーマン食品 減塩教室（2回目）
第4次食育推進 計画への位置付け	基本方向1-2、2-1
期 日	令和6年11月12日
場 所	青森市立浪岡北小学校
活動内容・ 参加者等	・浪岡北小学校5年生が対象 ・適度な塩分摂取が必要だが、取りすぎること健康上のリスク が高まることを学びながら、実践してみたい減塩の取り組み を発表。
事業名 ⑥	「第13回 ご当地！絶品うまいもん甲子園」 弘前実業高校が全国大会で優勝！
第4次食育推進 計画への位置付け	基本方向1-2、3-2
期 日	令和6年11月3日
場 所	住友不動産西大崎ガーデンタワー
活動内容・ 参加者等	・地元の食材を使用したアイデアメニューの調理とプレゼンテ ーションを競う料理コンテスト。 ・弘前実業高校が北海道・東北エリア大会を勝ち進み、決勝大会 で優勝しました。 ・受賞したのは、郷土料理の「がっばらもち」から発想を得て、 青森県産食材をがっばど（ふんだんに）使用した 「がっばど青森バーガー」。商品化して販売予定です。

2 3 株式会社マエダ

事業名 ①	地場商品コーナーの展開
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向3-1
期 日	通年
場 所	マエダストア全店
活動内容・参加者等	<ul style="list-style-type: none"> ・「地産地消」を目的に地場野菜や加工品を販売。 ・全店に販売コーナーを常設し、店舗近くの農家さん等から仕入れ販売
事業名 ②	インターンシップにおける寿司作り体験
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-2
期 日	令和6年7月以降 月1~2回程度
場 所	マエダ青森本部、マエダストア問屋町店
活動内容・参加者等	弊社のインターンシップに参加の大学生を対象に、食の大切さと弊社の仕事内容を知ってもらうため、実際に店舗で販売している寿司の製造体験を実施。

2 4 紅屋商事株式会社

事業名 ①	紅屋の食育
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-1、1-4、2-1、3-1、3-2、3-3、 配慮すべき事項2
期 日	年10回（8月、12月を除く月一回開催）
場 所	カブセンター、ベニーマート 計11店舗
活動内容・ 参加者等	<p>月毎に食育テーマを設定し、情報提供、バランスの良い献立提案、試食提供を実施。毎回、減塩（塩分量見本掲示）・野菜摂取（生・加熱野菜で量目見本展示）の推奨を行い、県産食材、県内加工品も献立に活用し、店内・広告等で紹介。</p> 
取組の具体的な手法 や特徴的なこと (他団体との連携など)	管理栄養士監修の献立を提案。各店舗で独自のイベント実施。体験型イベント（野菜350g重量当て、塩分チェック他）やテーマに沿ったアンケート、クイズなどで食育取り組みへの一步を提案。食品メーカーより減塩しょう油の試供品の協力有り。
備 考	令和7年度も実施予定。
事業名 ②	食育通信 ベニーズキッチン
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-1、1-4、2-1、3-1、3-2、3-3、 配慮すべき事項2
期 日	年6回発行（2カ月に一回発行）
場 所	カブセンター、ベニーマート 計11店舗
活動内容・ 参加者等	事業名①の取組み内容を店内配布ポイントカタログ「ベニークラブ」に掲載。食育情報シートや活動写真を掲載。
備 考	令和7年度も実施予定。
事業名 ③	こども食育新聞
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-1、1-4、3-1、3-2、3-3、 配慮すべき事項2
期 日	年12回
場 所	カブセンター、ベニーマート 計11店舗、食育WEBサイト

<p>活動内容・参加者等</p>	<p>月毎に食育テーマを選定し、月一回発行。店内配布、食育WEBサイトで配信。</p> 
<p>取組の具体的な手法や特徴的なこと(他団体との連携など)</p>	<p>季節や行事に合わせた食や生活習慣にまつわる内容を紹介。文字を大きく、漢字にはルビを振り、イラストを多用して読みやすく工夫。</p>
<p>備考</p>	<p>令和7年度も実施予定。</p>
<p>事業名④</p>	<p>だし活推進</p>
<p>第4次食育推進計画への位置付け</p>	<p>基本方向2-1、3-1</p>
<p>期日</p>	<p>年5回</p>
<p>場所</p>	<p>カブセンター、ベニーマート 計5店舗</p>
<p>活動内容・参加者等</p>	<p>できるだしを使用したレシピ作成、店舗での試食提供を実施。</p>
<p>取組の具体的な手法や特徴的なこと(他団体との連携など)</p>	<p>青森県農林水産部、県内メーカー他、だし活協議会の協力のもと実施。</p>
<p>備考</p>	<p>令和7年度も実施予定。</p>
<p>事業名⑤</p>	<p>食育WEBサイト</p>
<p>第4次食育推進計画への位置付け</p>	<p>基本方向1-1、1-4、2-1、3-1、3-2、3-3、配慮すべき事項1、2</p>
<p>期日</p>	<p>通年</p>
<p>場所</p>	<p>https://www.beny.co.jp/healthylife/</p>

活動内容・ 参加者等	事業名①③④の他、レシピや旬のおすすめ商品等を提案する食育WEBサイト。
取組の具体的な手法 や特徴的なこと (他団体との連携など)	毎月の食育活動やだし活の実施報告記事や季節に合わせた情報をタイムリーに発信。各SNS、YouTubeとも連動している。
備 考	令和7年度も実施予定。
事業名 ⑥	バランス献立推進 料理教室
第4次食育推進 計画への位置付け	基本方向1-1、2-3、3-1、3-2
期 日	令和6年8月～11月 計3回
場 所	青森、弘前、八戸 3会場
活動内容・ 参加者等	「まごにわやさしいの料理教室」 バランス献立「まごにわやさしい」の講演とレシピ6品の料理教室の実施。 1) 青森会場 令和6年8月20日 アピオあおもり 参加人数 14名 2) 弘前会場 令和6年9月12日 弘前文化センター 参加人数 24名 3) 八戸会場 令和6年11月20日 ポータブルミュージアムはっち 参加人数 9名 20～80代と幅広い年代が参加。
取組の具体的な手法 や特徴的なこと (他団体との連携など)	「まごにわやさしい」の各食材の栄養やワンプレートのメリットなどの説明、野菜摂取への意識付け。調理の後、一緒に試食することで新たなコミュニティの創出。参加者全員より次回も参加したいとの評価。
備 考	令和7年度も実施予定。
事業名 ⑦	「野菜+果物」食べようキャンペーン
第4次食育推進 計画への位置付け	基本方向1-1、1-4、3-1
期 日	令和6年9月7日～12月6日
場 所	カブセンター、ベニーマート 計11店舗

取組の具体的手法 や特徴的なこと (他団体との連携など)	青森県主催キャンペーンの協力店。啓発資材(ポスター、電子 POP モニター)の店内掲示。キャンペーンノベルティ配布。(サンブ ラッソ・エイティーンブイ)
------------------------------------	--

2 5 公益社団法人青森県看護協会

事業名 ①	青森県看護協会県民フォーラム
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向 1-5
期 日	令和6年8月24日(土)
場 所	県民福祉プラザ
活動内容・参加者等	<p>・「県民フォーラム」を開催し、来場した一般住民を対象に、骨密度測定、インボディ、ベジチェック、健康相談に従事し、生活習慣病予防等の食育に係る活動を実施した。</p> 
事業名 ②	健康祭り等への参画 (東青支部による支部活動)
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向 1-5
期 日	令和6年9月7日(土)
場 所	県民福祉プラザ
活動内容・参加者等	<p>・「あおもりシニアフェスティバル」に参加し、来場した一般住民を対象に、血管年齢測定、健康相談に従事し、生活習慣病予防等の食育に係る活動を実施した。</p>
事業名 ③	健康祭り等への参画 (上十三支部による支部活動)
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向 1-5
期 日	令和6年9月29日(土)
場 所	三沢市総合社会福祉センター
活動内容・参加者等	<p>・「三沢市社協祭り」に参加し、来場した一般住民を対象に、血圧測定、骨密度測定、健康相談に従事し、生活習慣病予防等の食育に係る活動を実施した。</p>

事業名 ④	健康祭り等への参画（下北支部による支部活動）
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向 1-5
期 日	令和6年11月30日(土)
場 所	大間町総合開発センター
活動内容・参加者等	<ul style="list-style-type: none"> ・「大間町産業祭」に参加し、来場した一般住民を対象に、手洗いチェッカーによる手洗い指導、心音を聴く体験を実施後に、健康相談に従事し、生活習慣病予防等の食育に係る活動を実施した。
取組の具体的な手法や特徴的なこと (他団体との連携など)	<ul style="list-style-type: none"> ・看護協会が主催し、他団体と連携し、一般住民を対象に健康づくりに係る普及啓発を実施した。 ・看護協会の会員である看護職が、他団体と連携し、健康祭り等の地域のイベントに参加し、一般住民への健康づくりに係る知識・技術の提供に継続して取り組んできている。

26 公益社団法人青森県栄養士会

事業名①	「無料栄養相談」あおり栄養ケア・ステーション 1
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向 1-1、1-5、2-1、配慮すべき事項 1
期 日	令和 6 年度
場 所	栄養士会事務所
活動内容・参加者等	県民を対象に、無料で栄養相談や食育相談を実施 HP 随時
事業名②	「サンロード青森健康促進デー」あおり栄養ケア・ステーション 2
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向 1-1、1-5、2-1、3-1
期 日	令和 6 年 10 月 19 日(土)～20 日(日)
場 所	サンロード青森
活動内容・参加者等	減塩のぼり、減塩タペストリーの掲示、減塩チラシ 食育エプロンの展示、ヘルシーダイアリーの配布 栄養相談 19 日 26 名 20 日 22 名
事業名③	普及啓発事業 1 (弘前健康まつり)
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向 1-1、1-5、2-1、3-1
期 日	令和 6 年 7 月 13 日
場 所	ヒロロ 4 階
活動内容・参加者等	「栄養相談コーナー」 減塩のぼり、減塩タペストリーの掲示 野菜の摂り方について、ジュースの中に入っている砂糖の量
事業名④	普及啓発事業 2 (八戸市健康フェスタ 2024)
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向 1-1、1-5、2-1、3-1
期 日	令和 6 年 9 月 29 日(日)
場 所	八戸市総合保険センター
活動内容・参加者等	減塩活動のパネル展示 栄養食事相談 参加者 816 名

事業名 ⑤	普及啓発事業 3 (十和田市コミュニティまつり)
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向 1-1、1-5、2-1、3-1
期 日	令和6年10月19日
場 所	十和田市南コミュニティセンター
活動内容・参加者等	「栄養相談コーナー」 減塩のぼり、減塩タペストリーの掲示、参加者 90名
事業名 ⑥	普及啓発事業 4 (東北町健康・福祉まつり)
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向 1-1、1-5、2-1、3-1
期 日	令和6年11月3日
場 所	東北町
活動内容・参加者等	「栄養相談コーナー」 減塩のぼり、減塩タペストリーの掲示、参加者 200名
事業名 ⑦	普及啓発事業 5 (あおもり健康寿命延伸フェア 2024)
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向 1-1、1-5、2-1、3-1
期 日	令和6年11月9日
場 所	サンロード青森 サンホール
活動内容・参加者等	減塩のぼり、減塩タペストリーの掲示 参加者 303名
事業名 ⑧	普及啓発事業 6 (健康づくり市民のつどい)
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向 1-1、1-5、2-1、3-1
期 日	令和6年11月16日
場 所	スポカルイン黒石
活動内容・参加者等	「栄養相談コーナー」(来場者 300名) 減塩のぼり、減塩タペストリーの掲示、栄養クイズ 280枚 食品の塩分量モデル展示、各疾患のパンフレット、栄養相談
事業名 ⑨	「アスリートプログラム」 あおもり栄養ケア・ステーション 3
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向 1-2、1-5
期 日	令和6年度
場 所	マエダアリーナ (青森市)
活動内容・参加者等	中・高校・一般のスポーツ選手を対象に食事栄養診断と栄養相談 種目は自転車、バドミントン、ボート、スキー、スピードスケート、卓球、カヌー等 計30回
取組の具体的手法や特徴的なこと (他団体との連携など)	青森県スポーツ科学センターとの委託事業

事業名 ⑩	「社員の食生活改善セミナー」 あおもり栄養ケア・ステーション 4
第4次食育推進計画への位置づけ	基本方向 1-3、2-1、3-3、配慮すべき事項 2
期 日	令和 6 年度
場 所	青森県内
活動内容・参加者等	青森県内の企業を対象に社員の食生活改善のセミナーを行った。 朝食を食べない社員へのアドバイス、生活習慣病の予防と改善 禁煙・禁酒に関するアドバイス、一人暮らしへのアドバイス、 高血圧にならないために、朝食・昼食の作り方等 計 10 社
取組の具体的手法や特徴的なこと (他団体との連携など)	青森県 農林水産部 食ブランド・流通推進課との委託事業

27 社会福祉法人青森県社会福祉協議会

事業名 ①	「みんなの居場所」の運営支援
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向2-3
期 日	通年
場 所	県内全域
活動内容・参加者等	青森県内で食を通じた居場所づくりを行っている「みんなの居場所」の登録の仕組みにより、活動や運営の支援を行っている。86ヶ所が登録されているほか、これから活動を行いたい人へのスタートアップ助成金の交付も行っている。
事業名 ②	あおもりフードバンクの運営
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向3-3
期 日	通年
場 所	県内全域
活動内容・参加者等	企業、団体及び個人から食品等を無償で受け入れ、その食品等を無償で配布する「あおもりフードバンク」を運営し、年間約42トン、289件の寄贈を受入れしている（令和5年度実績）。寄贈された食品等は、生活困窮者支援団体、みんなの居場所運営団体等の約300団体を通じて活用されている。
取組の具体的手法や特徴的なこと (他団体との連携など)	「みんなの居場所」や「あおもりフードバンク」の活動団体は、社会福祉法人やNPO法人、市民団体など多様な運営形態で、活動内容も困窮者支援やこども食堂、外国人や刑余者等の支援など多様になっている。

28 一般社団法人青森県保育連合会

事業名 ①	令和6年度給食・食育研修会
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-2
期 日	令和6年10月16日(火)
場 所	ホテル青森
活動内容・参加者等	<p>県内保育所等の給食関係者の資質及び専門性の向上を目指し開催</p> <p>1. 「子育て支援を進める【食事食育編】」 ～保育実践と一体となった食育の推進に向けて～ 国立大学法人上越教育大学大学院 学校教育研究科 発達支援・心理臨床教育学系 教授 野口孝則 氏</p> <p>2. 「青森県保育所等給与栄養目標量設定ツール」について 青森県保育連合会 給食部会</p> <p>参加者 現地参加者 127名 オンライン参加者 94名</p>
取組の具体的な手法や特徴的なこと (他団体との連携など)	<p>子どもの「食」の視点から豊かな人間性を育み、子どもに与える栄養の意義や発育期の栄養の特性を総合的に理解する。</p>



29 国立大学法人弘前大学農学生命科学部

事業名 ①	令和6年度弘前大学むつサテライトキャンパス公開講座 「食育講座」
第4次食育推進 計画への位置付け	基本方向2-1
期 日	第1回：8月9日（金） 第2回：8月23日（金） 第3回：9月27日（金） 第4回：10月18日（金）
場 所	下北文化会館 外
活動内容・ 参加者等	8/9（金） 農学生命科学部 准教授 前多隼人 【食材 ゴーヤ・ズッキーニ】 「夏野菜の代表ゴーヤとズッキーニで暑い夏を乗り切ろう」参加者20名 8/23（金） 弘前大学 名誉教授 加藤陽治 【食材 カシス】 「青森県のカシス生産量はわが国で一番です！強力な抗酸化作用で美容と健康を維持しましょう」 参加者24名 9/27（金） 農学生命科学部 准教授 前多隼人 【食材 ナス】 「酸化ストレスと血圧に対するナスの機能成分の効果」 参加者14名 10/18（金） 弘前大学 名誉教授 加藤陽治 【食材 カボチャ】 「豊富なβカロテン、ビタミンEで老化防止を！ 粘膜や皮膚を強化して厳しい冬に備えよう」 参加者15名
事業名 ②	公開講座「リンゴを科学する」
第4次食育推進 計画への位置付け	基本方向3-1, 3-3, 配慮すべき事項2
期 日	令和7年1月26日（日）

<p>場 所</p>	<p>板柳町 多目的ホール「あぷる」 (北津軽分板柳町大字灰沼字岩井61)</p>
<p>活動内容・ 参加者等</p>	<p>本学教員及び外部講師により次の講演を行う予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ○リンゴを平棚で栽培する～脚立不要のリンゴ栽培～ 弘前大学 農学生命科学部 教授 伊藤 大雄 氏 ○リンゴ園におけるスマート農業の可能性について 弘前大学 農学生命科学部 教授 張 樹槐 氏 ○リンゴの小さな大害虫「ハダニ」を天敵「カブリダニ」で防除する 農業・食品産業技術総合研究機構 植物防疫研究部門 果樹茶病害虫防除研究領域 上級研究員 岸本 英成 氏 ○リンゴ新品種の商業化～150年の歴史を振り返る～ 弘前大学 人文社会科学部 教授 黄 孝春 氏
<p>取組の具体的手法 や特徴的なこと (他団体との連携など)</p>	<p>【事業1】 むつサテライトキャンパスが主催 https://www.hirosaki-u.ac.jp/topics/97172/</p> <p>【事業2】 弘前市、平川市及び藤崎町の後援を受け、板柳町との共催</p>

30 学校法人青森田中学園青森中央短期大学

事業名 ①	青森中央短期大学 食育講座・出前講座
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向 1-2、1-5、3-2
期 日	令和6年6月～令和6年12月
場 所	県内の保育施設、公共機関、教育機関等
活動内容・参加者等	<p>本学食物栄養学科教員の専門性を活かしたテーマを設定し、依頼元の対象者、目的、課題やニーズに応え、食事や栄養に関わる多様な内容の講義を実施した。</p> <p>【食育講座】4件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学校、家庭、地域が連携した食育」 対象：教職員、保護者 ・「口腔内の育ちと食事形態」 対象：保育園給食関係者 ・「食べ物の消化」 対象：園児 ・「食育のポイント」 対象：食生活改善推進員 <p>【食に関する出前講座】3件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「食中毒を防ごう」 対象：一般市民 ・「食育」 対象：高校生 ・「フレイル予防の食事」 対象：一般市民
事業名 ②	公開講座「オレの離乳食 2024：男性管理栄養士による男性のための離乳食講座」
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向 1-1、1-2
期 日	①令和6年7月27日（土）、②令和6年10月6日（日）、③令和7年1月25日（土）（全3回）
場 所	アピオあおもり 1階 調理実習室
活動内容・参加者等	<p>男性参加者を対象に、男性管理栄養士が講師となり、初期・中期・後期離乳食について、科学的根拠に基づく知識と技術を学ぶ調理教室を実施した。男性の育児参加の支援のみならず、自分自身と家族の将来の健康管理や、望ましい食習慣の基礎作り、食育を促すことを目的とした。</p>

事業名 ③	産官学連携・地産地消弁当の共同開発
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向 1-4、1-5、3-1、3-2、配慮すべき事項 2
期 日	令和6年10月
場 所	青森県内
活動内容・参加者等	青森県産品を使用した郷土料理を盛り込んだ地産地消弁当「ちゅっぴいおすすめ！青森の味お楽しみ弁当」を、本学食物栄養学科の学生がイオン東北株式会社、青森県と連携して開発・販売した。
事業名 ④	高齢者施設における手作りおやつを提供
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向 1-5、2-3
期 日	令和6年9月10日（火）・11日（水）
場 所	特別養護老人ホーム三思園
活動内容・参加者等	咀嚼や嚥下の力が低下した高齢者が「口から食べる喜び」を感じられるように、食べやすく栄養価の高いおやつを、食物栄養学科の学生が考案・調理し、高齢者施設入所者に提供した。
事業名 ⑤	小学生の親子対象の料理教室
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向 1-1、1-2、1-5、2-3、3-2
期 日	令和6年9月21日（土）
場 所	青森中央短期大学
活動内容・参加者等	小学生親子8組を対象とした料理教室を開催した。 生涯にわたり健康的な生活を送るため、望ましい食生活や生活習慣を学童期から理解すること、家庭での実践につなげることを目的として、本学食物栄養学科の学生とともに考案した健康的な食材を採り入れたレシピによる親子クッキングとした。

事業名 ⑥	保育施設での親子を対象とした調理教室
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向 1-1、1-2、1-5、2-3
期 日	①令和7年2月1日(土) ②令和7年2月15日(土)
場 所	①認定こども園青森中央短期大学附属第二幼稚園 ②認定こども園青森中央短期大学附属第一幼稚園
活動内容・参加者等	園児とその保護者を対象に、親子が一緒に楽しみながら調理することで、食材や料理、食べることへの興味を喚起するとともに、異なる世代間で食の楽しみを共有できる食育調理教室を実施した。
事業名 ⑦	おさかな料理教室
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向 1-1、1-2、3-1、3-2、3-3、配慮すべき事項2
期 日	令和6年10月5日(土)、11月30日(土)、12月21日(土)
場 所	青森中央短期大学
活動内容・参加者等	若者世代への魚食普及や青森県産水産物の消費拡大を目指す取り組みの一環として、県内の漁業者を招き、魚介類の特徴や漁業者ならではの調理を学ぶ料理教室を開催した。各回、学生15名ほどが参加し、実際に調理し味わうことで県産水産物の魅力を体験し、さらに、水産資源を取り巻く環境、生産・流通・消費について学んだ。
事業名 ⑧	あおもり食育サポータースキルアップ講座
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向 1-1、1-2、1-5、2-1、2-2、2-3、3-1、3-2、3-3、配慮すべき事項2
期 日	令和6年9月3日(火)、9月4日(水)、9月9日(月)、9月10日(火)、9月12日(木)、9月17日(火)
場 所	青森中央短期大学、青森中央短期大学附属第一幼稚園、青森田中学園サテライトキャンパス FRIENDLY WINDOW
活動内容・参加者等	あおもり食育サポーターの食育活動実践力の向上と、サポーターとして活躍する人材の育成を目的として、全10回の集中講座を開催した。対象は、あおもり食育サポーター登録者で、計5名が受講し、講師は栄養学や幼児教育の専門家が務めた。

<p>取組の具体的手法 や特徴的なこと (他団体との連携など)</p>	<p>青森中央短期大学は、栄養学や健康教育を専門とする食物栄養学科を擁し、栄養に関わる専門職業人の育成・教育や研究活動を行っている。特に、青森県の豊かな食材と食文化を全ての世代間で楽しみながら継承するための食育活動展開事業や、地域の食育活動実践者の育成・支援事業など、青森県民の健康寿命の延伸と健康行動の変容を目指して、さまざまな世代・職種を対象とした独自の取組を実施している。また、青森県委託事業「あおもり食育サポーター事務局」や、「あおもり食育検定委員会事務局」として、地域の市民や諸機関と連携、協力しながら青森県の食育活性化事業を実施、支援している。</p>
---	--

3 1 株式会社東奥日報社

事業名 ①	「うまい森 青いもり」フェア
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向 3-1、3-2
期 日	通年
場 所	青森市（アスパム）、弘前市（さくら野）、八戸市（館鼻岸壁朝市）、および東奥日報紙上
活動内容・参加者等	2016年に始まり9年目を迎えた県産品応援イベント。市町村が誇る食材・食文化について紹介する記事を新聞紙面およびWebで随時掲載。生産者や生産団体と消費者をつなげる物販イベントを県内3市で開催している。
事業名 ②	東通村活性化プロジェクト
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向 3-1、3-2
期 日	6月29日
場 所	東通村内
活動内容・参加者等	東通村アンバサダーの料理家・栗原心平さんが村を訪れるタイミングで、村特産の牛肉や地まきホタテなどを食材にしたバーベキューイベントを企画運営。村外の親子など約20人が参加し、県産品の魅力を再発見してもらった。
取組の具体的手法や特徴的なこと（他団体との連携など）	「うまい森～」では、本件の地域活性化アイドルグループによる「食レポート」を掲載し、SNSでの発信も依頼している。物販イベントでは同グループのミニライブや、県内大学生による県産食材活用レシピの紹介なども展開した。

3 2 あおもり食育検定委員会

事業名 ①	2024 年度あおもり食育検定
第 4 次食育推進 計画への位置付け	基本方向 1-5
期 日	2024 年 11 月 10 (日)
場 所	<p>【主会場】 青森中央短期大学 (青森市)、弘前学院大学 (弘前市)、 八戸学院大学 (八戸市)、むつ下北観光物産館 (むつ市)</p> <p>【団体会場】 青森県立弘前南高等学校 (弘前市)、青森県立弘前実業高等学 校 (弘前市)、青森県立三本木農業恵拓高等学校 (十和田市)、 八戸学院大学光星高等学校 (八戸市)、弘果 弘前中央青果株式 会社 (弘前市)</p>
活動内容・ 参加者等	<p>内容：県内 4 会場 (主会場) 及び 5 団体会場 (準会場) におい て、あおもり食育検定を実施した。</p> <p>参加者：申込 223 名、受検 213 名、合格 153 名</p>
事業名 ②	あおもり食育検定委員会 2024「農業体験」
第 4 次食育推進 計画への位置付け	基本方向 3-1
期 日	①2024 年 10 月 13 日 (日) ②2024 年 11 月 24 日 (日)
場 所	①青森観光リンゴ園 (川村農園、青森市) ②株式会社 SATO FARM (佐藤恵美、鯨ヶ沢町)
活動内容・ 参加者等	<p>①りんご講座を受講・りんご収穫体験、10 名参加 ②反射シートの撤去・りんご普及活動を受講、16 名参加</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
取組の具体的手法 や特徴的なこと (他団体との連携など)	農業体験には、子ども、大学生、一般と幅広い年代にご参加い ただいた。